

業績の概要

単体決算

主要な単体経営指標の推移

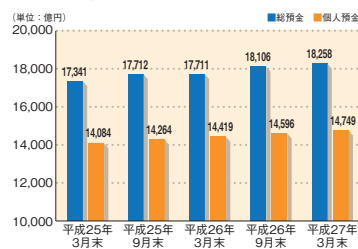
回次 決算年月	単位	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期
		平成23年3月	平成24年3月	平成25年3月	平成26年3月	平成27年3月
経常収益	百万円	35,875	38,192	39,135	39,332	40,723
経常利益	百万円	2,443	7,006	9,949	11,976	12,312
当期純利益	百万円	6,025	7,382	7,757	12,672	12,459
資本金 (発行済株式総数)	百万円 (千株)	38,653 普通株式 (303,275) 第一種優先株式 (1,440) 第二種優先株式 (175,000)	38,653 普通株式 (303,752) 第一種優先株式 (1,430) 第二種優先株式 (175,000)	38,653 普通株式 (309,942) 第一種優先株式 (1,320) 第二種優先株式 (175,000)	38,653 普通株式 (343,231) 第一種優先株式 (620) 第二種優先株式 (175,000)	38,653 普通株式 (371,802) 第一種優先株式 (-) 第二種優先株式 (175,000)
純資産額	百万円	84,560	94,586	106,929	117,635	136,257
総資産額	百万円	1,778,192	1,829,114	1,883,330	1,944,482	2,058,026
預金残高	百万円	1,631,094	1,674,013	1,734,106	1,771,112	1,825,808
貸出金残高	百万円	1,229,347	1,249,949	1,279,311	1,302,529	1,330,665
有価証券残高	百万円	476,576	482,253	511,863	521,402	552,829
1株当たり純資産額	円	137.21	170.74	211.38	232.69	273.42
1株当たり配当額 (内1株当たり中間配当額)	円 (円)	普通株式 1 (-) 第一種優先株式 125 (-) 第二種優先株式 3.464 (-)	普通株式 2 (-) 第一種優先株式 125 (-) 第二種優先株式 3.240 (-)	普通株式 2 (-) 第一種優先株式 125 (-) 第二種優先株式 3.220 (-)	普通株式 2 (-) 第一種優先株式 125 (-) 第二種優先株式 3.020 (-)	普通株式 2 (-) 第一種優先株式 - (-) 第二種優先株式 2.940 (-)
1株当たり当期純利益金額	円	17.30	21.91	23.24	37.28	33.69
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	円	6.65	9.97	9.73	17.35	17.17
単体自己資本比率 (国内基準)	%	9.31	9.84	9.76	10.45	10.76
株価収益率	倍	5.95	4.38	4.81	2.70	2.93
配当性向	%	5.77	9.12	8.60	5.36	5.93
従業員数 [外、平均臨時従業員数]	人	1,455 [580]	1,440 [543]	1,412 [524]	1,406 [518]	1,417 [518]

- (注) 1. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
 2. 「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」の算定に当たっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。
 3. 自己資本比率は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部の合計で除して算出しております。
 4. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は、国内基準を採用しております。
 なお、平成26年3月以降の単体自己資本比率は、パーゼルⅢ国内基準に基づき算出しております。
 5. 平成23年3月の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

預金

預金は、前年度末比546億円増加の1兆8,258億円となりました。

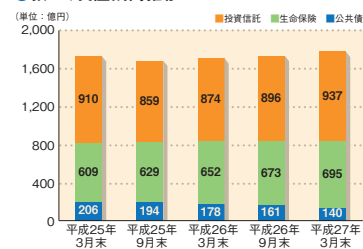
●預金残高推移



預かり資産

投資信託は、399億円の販売を行い、生命保険は43億円、公共債は21億円の販売・募集を行いました。

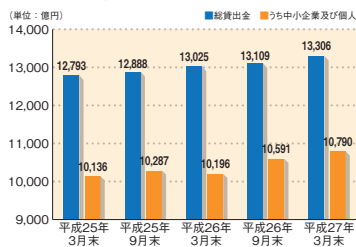
●預かり資産残高推移



貸出金

貸出金は、前年度末比281億円増加の1兆3,306億円となりました。

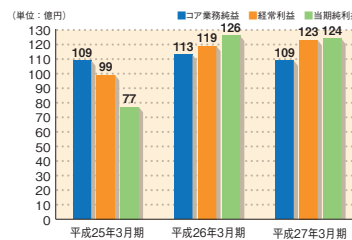
●貸出金残高推移



収益面

コア業務純益は、109億円を計上し、経常利益は123億円、当期純利益は124億円となりました。

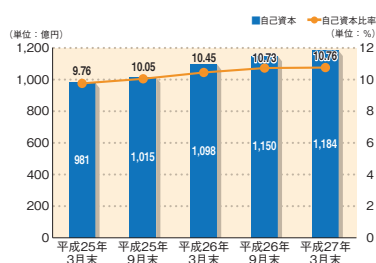
●利益の推移(単体)



自己資本比率

自己資本比率は、平成26年3月期よりパーゼルⅢ国内基準にて算出しております。新基準による自己資本比率は、10.76%となり、所要自己資本比率(4%)を大幅に上回っております。

●自己資本比率

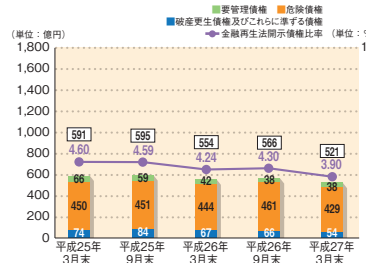


不良債権

金融再生法ベースの不良債権比率は、前年度末比0.34ポイント改善し3.90%となりました。

地域金融機関として、お客様の実態把握に努め、経営改善に向けた支援体制の強化と信用リスク管理に努めた結果、不良債権比率は着実に減少し、改善しております。

●金融再生法開示債権残高及び比率の推移



※金融再生法開示債権比率は、総与信に対する金融再生法開示債権の比率です。

連結決算

主要な連結経営指標の推移

連結会計年度 決算年月	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		平成23年3月	平成24年3月	平成25年3月	平成26年3月	平成27年3月
連結経常収益	百万円	39,999	42,136	42,703	42,534	43,622
連結経常利益	百万円	2,107	7,377	10,095	12,399	12,313
連結当期純利益	百万円	6,453	7,710	7,763	12,907	12,440
連結包括利益	百万円	10,857	11,504	13,976	12,312	19,154
連結純資産額	百万円	84,848	95,216	108,607	120,456	137,597
連結総資産額	百万円	1,775,249	1,825,030	1,879,865	1,941,877	2,060,418
1株当たり純資産額	円	137.85	172.46	213.10	237.50	276.42
1株当たり当期純利益金額	円	18.71	22.99	23.26	38.01	33.64
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	円	7.12	10.41	9.74	17.68	17.15
連結自己資本比率 (国内基準)	%	9.39	9.95	9.97	10.70	10.86

- (注) 1. 当行及び国内連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式となっております。
 2. 「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」(以下「1株当たり情報」という。)の算定に当たっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。また、これら1株当たり情報の算定上の基礎は、「資料編」中、「[連結情報] 連結財務諸表等」の「1株当たり情報」に記載しております。
 3. 自己資本比率は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出してしております。
 4. 連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出してしております。当行は、国内基準を採用しております。なお、平成25年度以降の連結自己資本比率は、パーゼルⅢ国内基準に基づき算出してしております。
 5. 平成22年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

セグメントの業績

セグメントの業績につきましては、銀行業のセグメント利益は122億45百万円、リース業のセグメント

利益は98百万円、その他のセグメント利益は3億4百万円となりました。

キャッシュ・フロー

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローは、預金の増加などにより998億31百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取

得などにより278億73百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより23億52百万円の支出となりました。